

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

3

March, 2018

vol. 413

Contents

建築探訪...01

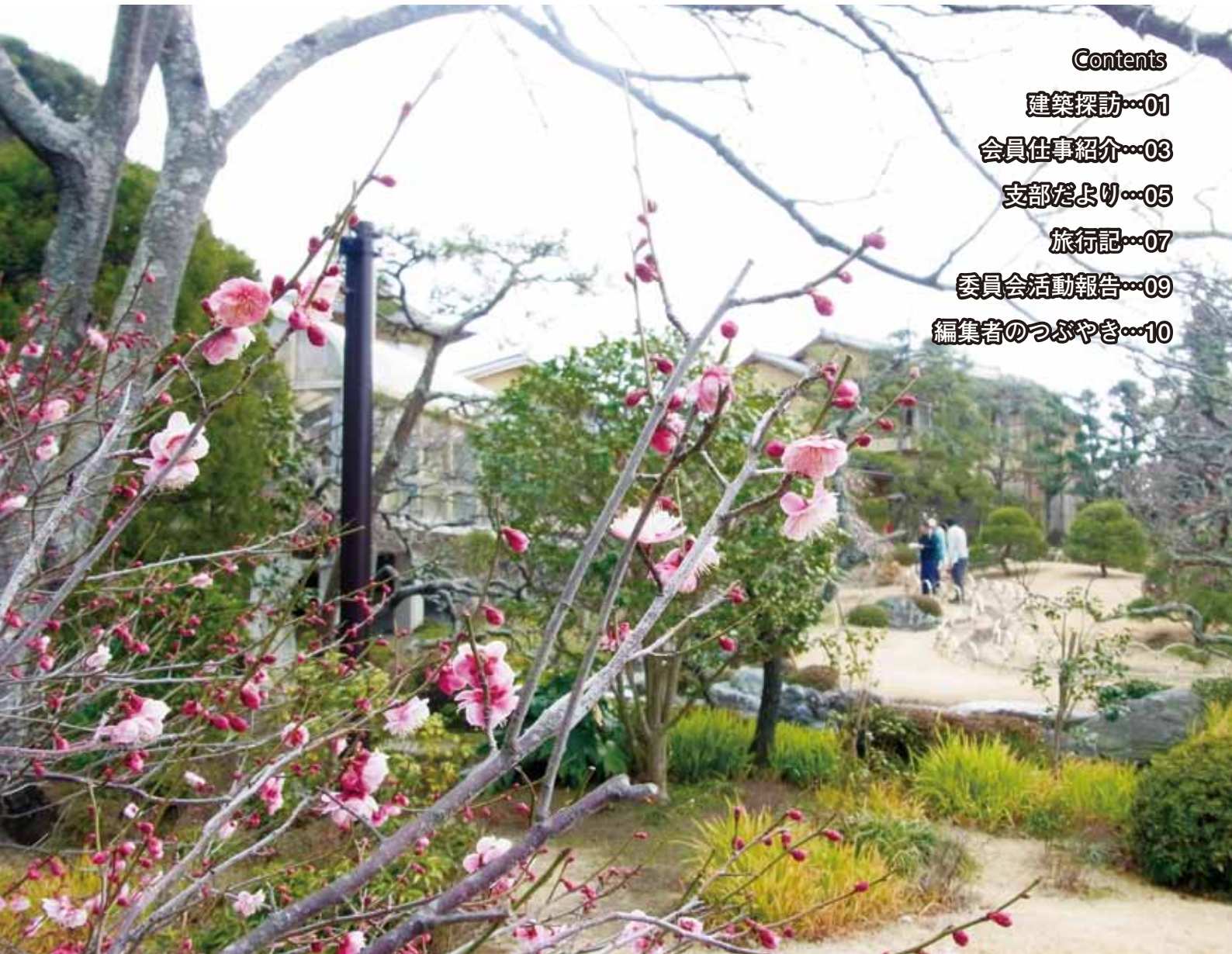
会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

委員会活動報告...09

編集者のつぶやき...10



五島列島の北端に浮かぶ小さな島、小値賀島を訪ねて

川崎支部 合同会社 春紫建築設計事務所 赤川 真理

長崎県の五島列島に移り住んだ友人を訪ねて博多から向かったのは、フェリーで二つ目の島、小値賀島^{おぢかじま}でした。東シナ海の小さな島で空が広くて美しいと紹介したかったけれども、残念ながらフェリーは海をジャンプし、風は真横に吹き殴るといふ台風真っ只中に到着。天候が穏やかな時であれば、島だけに海の幸に恵まれた食卓だろうと想像するところでしたが、今回は建築探訪ということなので、焦点を島の建築に当てて紹介していこうと思います。

冒頭から荒れ狂う海を経験したとおり、この島の建築はとても厳しい環境に耐えて今日まで残ってきたといえます。山の斜面や街路樹には松林が広がり、防風防潮と景観形成の役割を果たしています。

中心地である笛吹郷はいわゆる漁師町で、小値賀港から小値賀町役場を通る笛吹本通りがあり、漁師町特有の家々が密集して、細い路地を形成しています。

その家の外壁には薄い板が縦に張られ、下から上と重ねているためスカートのような若干のカーブがかってみえます。大半は伝統構法による木造で、構造材は殆どが松、基礎の石の上に土台敷き、壁は貫に竹小舞の土壁、内部は漆喰仕



菅（かつ）で通唐使が通った海が見える

上げ、屋根は瓦葺というのが基本の仕様です。築六十年前後くらいのものが多数をしめているようです。材料が貧しいなか、職人の工夫が試されるのでしょうか、目の前にあるものを使い退けたという職人の頑張りにより、うねった松梁が誇らしくおさまった小屋組が見られました。一軒の内覧した空き家では、柱や梁に使われた材料が経緯は不明ですが、再利用された材料であったことが確認でき、移築や材の使い回しも多く行なわれていたと考えられます。

中心地から少し外れると庭を持った平屋か二階建ての木造の家が建ち、田畑と緑が広がる集落となり、中心地と全く趣が異なっています。田園集落のゆったりとした構えの古民家を数軒



漁師町の街並み



漁師町の街並み

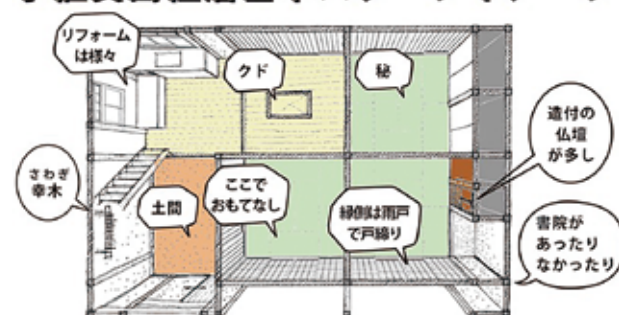
拝見させていただいたところ、基本の間取りがわかってきました。どの家々も敷地に合わせて少々変形させてはいるものの、奥から奥座敷、造り付けの仏壇と床の間がある座敷、茶の間で必ず案内された土間の横の座敷、板の間のクド、入り口からクドまで繋がる土間。土間は板の間にしてキッチンを据え付けるなど時代に合わせ様々な様子でした。漁師町でも同じ間取りのものが見受けられたので、この島の基本形になると思います。

これまでは、一般的な住居の特徴にふれましたが、この島には捕鯨で財を成した旧家の屋敷が改修され様々な用途に残されています。その中でも旧小田家の屋敷は民俗資料館として、築250年になる母屋や江戸時代に造られた石州流庭園、先祖代々使用してきた民具を見ることがで



うねった梁が巧みに組まれている

小値賀島住居基本パターンイメージ



間取りは一部屋を四畳半、六畳、八畳間のパターンで変化



さわぎ

きます。先ほどの田園集落の家の土間に吊るされていたもので、樫の木に藁で編んだ縄が結ばれて吊るされているものが「幸木（さわぎ）」であることをここで知ることができました。「幸木」とは、正月に野菜やスルメ、塩魚などの食料品を吊るし、下げ尾の数は普通の年は12本、閏年は13本となっていたそうです。

この島には古いものが多く残っていますが、新しいものが流行のように、例えばコンクリート瓦に葺き替えることだとか、新しくならざる得ない状況があるのだらうと思われます。しかし、未だにたくさんの木造建築がかたちを変えず素朴な状態に残っています。伝建地区のような特別でもなく、純粹に日本の家を見ることができた小値賀島でした。



捕鯨で富を得た旧藤松家。今はレストランになっている

会員仕事紹介

平塚支部

平塚支部 全農かながわ一級建築士事務所 千葉 健児

全農かながわ一級建築士事務所は、昭和44年7月10日に事務所登録依頼、来年で50年目を迎えます。発足以来、JAグループの建築設計事務所として地域貢献活動をしております。今日の都市農業を取り巻く環境は、急速な変化をとげています。私たちJAグループ神奈川の建築設計事務所は農業関連施設の建設はもとより、組合員の資産管理と土地の有効利用をサポートするために運営されています。

私たちは神奈川の地域特性を踏まえた中で、時代の流れに即した、機能性、意匠性豊かな建築のデザインをめざし、ますます多様化するニーズに応えた建築の作り手として取り組んでまいりました。

全農では施主代行方式を基本に建築事業の相談・企画から施工管理、アフター・入居管理まで一貫した総合機能を有しており、その中で設計監理並びに工事検査として幅広く対応しています。

具体的な建築設計用途は、各時代で需要はさまざまですが、農協の金融店舗・事務所、関連農業施設等の設計を主な業務としております。

「特定優良賃貸住宅」として、神奈川県は公共賃貸住宅を土地利用の一つとして取り組む時代もありました。近年においては、地産地消を基軸とした農産物直売所を各地に設計しております。

その他、各集会施設、病院、斎場施設、流通店舗、集合住宅、個人住宅、寺社建築にいたるまで、さまざまな建築の依頼に応じています。

今後とも経営理念の一つ「地球の環境保全に積極的に取り組みます」をキーワードとし、「より近くより深くより前へ」と農と住の調和した地域の発展をめざし建築設計活動を続けていきたいと思っております。

■作品紹介

JA横浜本店

Wスキン構造の外装により「地球の環境保全」に配慮した設計を心がけました。横浜市のキャスビー（建築物総合環境性能評価システム）に基づきWスキングラス、建具の2重被膜構造による空調負担軽減、屋上緑化にて自然断熱効果と潤いのある緑化空間の確保。



JAかながわ西湘本店

道路側は、ガラスルーバー・カーテンウォールにより外部からの視線を守るとともに、経営の透明性、未来志向を表現。



JAさがみ寒川支店

寒川駅北口のランドマーク、外観には、テラコッタルーバーを採用し、西面の日射を遮り空調負荷を軽減。



JA町田市南支店

向かいの直売所と新支店の間が道路を含み開かれた一体空間、直売所の「農」による産物と、金融・経済活動の支店機能を対面させその相乗効果を高めるに、共通する形体表現、要素を隠喩として内在させた建築表現。



金蔵寺（斎場）

「瀟洒な集い（葬祭）を演出し、落ち着いた居心地の良い空間構築」の演出。



JA相模原市 ベジたべーな（農産物直売場）

農産直売所を主な用途とした農業振興・食農教育の施設。その複合機能に基づいたデザインを表現。



JA東京みなみ日野支店 日野万願寺直売所

農産物直売場と金融支店の複合建築、交差点に向かい伸び上がる屋根、底が躍動感を与えるランドマーク。



住宅「藤沢の家」

風を満喫する明るい住まい。FRPグレーチングの透明性のある床、優しい表情の外観が特徴。



常顕寺

限界耐力計算手法により伝統工法による本堂。



湘南三浦支部活動報告

湘南三浦支部長 高橋 康

「精力善用」・「自他共栄」を掲げ、スタートした平成29年度も残り僅かとなり、皆さんもお感じになっていると思いますが、一年が経つのは本当に早いなと感じています。振り返れば支部総会からスタートし、5月「横須賀支部様との合同役員会」、6月「支部ホームページ編集等講習会」、8月「夏期研修会」、9月「親睦会」、11月「耐震診断講習会」・「横須賀ブロック担当スポーツ大会」、もちろん10月「第41回建築士事務所全国大会（和歌山大会）」にも参加させて頂き、忙しくも充実した日々を送る事が出来ました。今年度は横須賀ブロック担当でスポーツ大会が行われました。微力ながら運営等に携わらせて頂きましたが横須賀支部様におんぶにだっこでご迷惑をおかけしたかと思います。ブロックでの事業を経験する事で人とのつながりが深まったように感じます。夏期研修会では神奈川県、三浦市、葉山町、逗子市の各行政の担当者を講師に迎え、他支部、他団体の皆様、会員外の設計事務所様にお声掛けをし、第一部は行政との意見交換、第二部はホームインスペクションについての講習会を開催し、多くの皆様にご参加いただき充実した研修会となりました。今後も皆さんに興味を持って頂けるような研修

内容を企画し、支部や会員の認知度を上げていければと思います。長年の課題となっている会員増強に繋げるべく例会等を通じて「交流・情報交換・協力」を実践してきましたがなかなか成果が上がりません。今後は見かた、考え方を改めて取り組まなくてはならないと感じています。我々の活動の拠点である三浦市、葉山町、逗子市の各行政や地域住民の方々、会員外の設計事務所を巻き込んで其々が協力し合い、共感し、地元に貢献できる事業が出来たらと考えています。会員20名弱の支部ですが、決断や行動等はフットワーク良く、スピーディーに行える利点を生かして今後も活動していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



夏季研修会



ホームページ講習会



夏季研修会 第二部

県西支部研修旅行

県西支部 松井 正

昨年暮れの12月6日(水)に県西支部の研修旅行を実施しました。

本支部の研修旅行では国内の著名な建築見学を実施しておりますが、今回は千葉市教育委員会に多大な御尽力をいただき、1997年度の日本建築学会作品賞を受賞したシーラカンスが設計された千葉市立打瀬小学校を見学させていただきました。当日はこの学校の設計に携わった法政大学教授でCAtの赤松佳珠子氏からまずは建物の概要説明をお聞きした後に、解説を頂きながら館内を見学させていただきました。また同校の校長先生にも見学に同行いただきながらお話を頂けるといった、またとない大変貴重な機会となりました。この御蔭で3次元の空間が4次元にも5次元にも拡張された様な経験をさせていただきました。

当初から現在まで「開かれた学校」を文字通り実現された内部空間の中に都市機能を適切に埋め込まただけでなく、スケール感が抜群に良く、特に目を引いたのが住居の様な居心地が良いコージコーナを随所に設けられている空間構成が、竣工から20年以上経っても色あせない魅力を発している事に改めて気づきました。

昼食後には当支部の協力会社でもある原田産業(株)のご厚意によって、不二サッシ千葉工場へ見学に行きました。ここでは様々な実験に立ち会う事ができサッシの奥深さを体験する事ができました。

帰路には横浜中華街に寄り、支部の忘年会を兼ねた夕食会を開催させていただき、大いに盛り上がった実りの大きい晩秋の一日となりました。



チェコの旅

藤沢支部 小笠原 修司

一昨年の11月、我が事務所の代表が亡くなった。お蔭でと言っては何だが、重荷がなくなって、久しぶりに夫婦しての海外旅行が昨年の6月に実現した。(代表は愛犬シエラです、念のため)

行先はチェコのプラハとチェスキークルムロフ。夫婦での海外旅行が再開できる際には是非行こうと決めていた場所だ。

スキポール経由で降り立ったのはプラハ空港。予約していたタクシーの運ちゃんは2mを超す大男。時折、助手席のつり革を掴みながらの運転は迫力満点。空港から、周りに何もないハイウェイを走り、山を越え、下り坂をトラムと並んで走っていると、見えてきたのはヴルタヴァ川(モルダウ)、そしてプラハ城、あれがカレル橋かなと探している間にホテルに到着。もう夕方6時を過ぎていたので、一服した後、街に出て夕食。ビールが美味くて、しかも水より安い。

プラハは「建築博物館の町」と呼ばれているが、10世紀頃の建築から現代建築まで、さほど大きくないエリアに色々な建物が建ち並んでいる。ドイツやソ連から侵略は何度も受けているが、非暴力を徹底した市民の叡智により破壊を免れた賜物である。しかも古い街並の中に軒を並べて現代建築が全く違和感なく建っている。ダンシングビルなどもモダンなデザインながら、よく街と調和している。

旧市街の中心は旧市街広場、そして、そこから共和国広場までが観光客で賑わう一帯である。



プラハ…ヴルタヴァ(モルダウ)川もプラハの景観上、重要な要素になっている。

町のランドマークはプラハ城、特にヴィート教会は近くで見ても迫力があるが、遠景にもよく映える美しいお城である。でも綺麗な花には棘がある。近くのレストランはバカ高いし、両替屋では詐欺まがいのレートで交換されてしまった。皆さまもお気をつけ下さい。

これら観光のメインルートをひとつと回り、3日目の午後は、妻はムハ美術館と買い物、私はキュビズム建築が点在するヴィシェフラドへ。キュビズム建築も楽しいが、聖パウロ教会のある丘からの眺めがまた一興。

4日目、5日目は世界で最も美しい町と言われているチェスキークルムロフへ。こちらは紙面の都合上、割愛。

プラハに戻って三日間、見足りないエリアをぶらついて、すっかりプラハ通になった気分。余裕もできたので夜はスメタナホールに室内楽を聞きに行ったり、遅い日没を待って、眠い目をこすりながらプラハ城の夜景を見に行ったりと優雅な日々を過ごした。

プラハは治安も良く、また、街や建物は、どんな路地を歩こうとも、表から見ても裏に廻って絵になる。女の人も西欧、米国に比べてデブ率が低く、美人も多い。物価は安く、ビールは美味しい。妻は、こんなところに一度住んでみたいなどと言っているくらいだ。その場合、私もぬれ落ち葉のように、しつこく離れないようにしなくては。



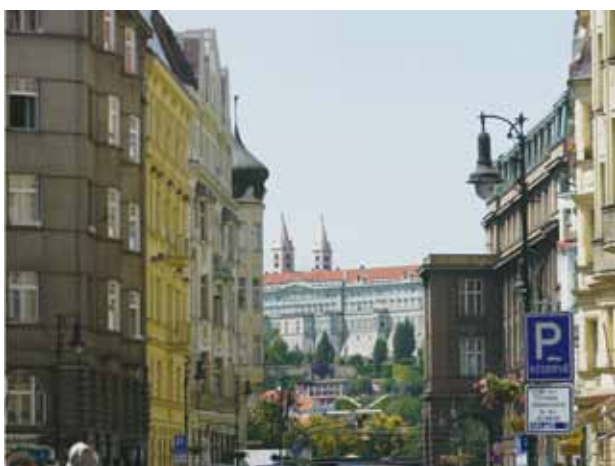
旧市街広場…旧市街の中心。市庁舎(旧)前の広場。但し今回、市庁舎は改修工事中、有名な天文時計も見られず。



ツェレトゥナー通り…旧市街広場に繋がる通りで、土産物屋が並び、人通りの多い通り。車をシャットアウトしたヒューマンスケールの道幅、微妙にカーブした道路線形、旧市街は全てそうだが、石畳が効いている。



共和国広場 市民会館…アールヌーヴォーを代表する建物。



プラハ城…旧市街のビルの際間から美しい姿を見せるプラハ城。街のランドマークだ。



新市街…ダンシングビル。このような斬新なデザインでも違和感がない。



ナ・ブシークピエ通り…モダンなデザインの建物も並ぶが、高さを統一して違和感のない街並になっている。



ヴィシェフラド地区…キュビズム建築として有名な3世帯住宅。立体派ということなのだろうが、窓回り等に立体感がある。

委員会活動報告

未来に繋げる事業専門委員会

未来に繋げる事業専門委員会 担当副会長 大和田 優

昨年、白井会長の肝いりで新たに活動を開始したのが、未来に繋げる事業専門委員会です。当専門委員会は、「神事協と会員の未来のために」何が必要かを考え、提言をまとめることを活動目的としています。具体的には、会員増強のための新事業の企画、中長期の目標設定、周知活動を強化する新たな本会HPの企画、支部およびブロック活性化のための新たな試みの模索など多岐に渡り、総財務・業務支援・企画・広報情報・ブロック支部などの常設委員会および傘下の各専門委員会に対して提案するとしています。いわば、当専門委員会はシンクタンクで、且つ、各委員会の横のつながりのための接着材であると言えます。そのため活動している委員の多くは、他の委員会委員や各支部役員を兼務していて、少なからずの御負担を頂いております。また、オブザーバーとして賛助会役員の方には手弁当で委員会に御参加頂いております。

さて、昨年11月に実施致したアンケート調査では、業務御多忙のなか御回答を頂き真にあり

がとうございました。支部長以下役員の皆様には、回答収集のために御尽力頂き重ねて御礼申し上げます。

アンケートの回収数は、神事協全体では325事務所でした。これは、アンケート対象事務所総数784事務所（H29/11/8現在会員数）に対して41.5%の回収率となり、同種のアンケート調査と比較しても非常に高い数値であったと思います。ちなみに、昨年8月の日事連・実態調査の回収率は、関東甲信越ブロックで17.1%、全国平均では14.2%という結果でした。

この高回収率は、会員の皆様の神事協に対する「熱い気持ちの表れ」ではないかと、委員一同、深く感謝するとともに感銘を受けているところです。

アンケート結果については、会報「KANAGAWA」の誌面にて複数月に渡り公表させていただきます。設問をカテゴリ毎に分析したうえで公開し、議論を投げかけたいと考えておりますので、どうぞ宜しく御願い致します。

未来に繋げる事業専門委員会



神事協と会員の未来のために

新入会員のご紹介		
1月入会者		
横須賀支部		
アトリエITA建築設計事務所二級建築士事務所 〒238-0031横須賀市衣笠栄町4-28-16 TEL.046-804-8707 FAX.045-330-5422		石川 諒
県西支部		
青木工務所 〒256-0815小田原市小八幡1-12-6 TEL.0465-47-6737 FAX.0465-49-3459		青木 一高
2月入会者		
川崎支部		
EQSD一級建築士事務所 〒213-0033川崎市高津区下作延2-11-11 La Mela 301 TEL.044-385-2369		遠藤 俊貴
横須賀支部		
株式会社美装 〒237-0066横須賀市湘南鷹取1-33-24 TEL.046-866-2929 FAX.046-865-0621		田淵 裕史
退会者		
横浜支部		
リスト株式会社一級建築士事務所 株式会社ビートルホーム二級建築士事務所 有限会社菅沼建築研究所一級建築士事務所	北見 尚之 長谷川 雅章 菅沼 好隆	
川崎支部		
株式会社インペ建築設計事務所 高嶺建設株式会社一級建築士事務所 株式会社渡邊工務店	磯部 邦憲 北村 昭 渡邊 孝志	
横須賀支部		
岡本建築設計室		岡本 祐治
鎌倉支部		
二級建築士事務所有限公司さっちゃん		小山 幸夫
秦野支部		
合同会社 宗像構造設計		宗像 将和
大和綾瀬支部		
(株)アドバンスウィング		片平 明
県西支部		
エム建築設計一級建築士事務所		本多 勝
変更		
横浜支部		
株式会社カスカデザイン一級建築士事務所 (所在地変更) 〒220-0041横浜市西区戸部本町51-9 ながせ高島町ビル5F 一級建築士事務所株式会社宇田川建築設計事務所 (所在地変更) 〒231-0015横浜市中区尾上町6-86-1 関内マークビル4階		
株式会社リノシスコーポレーション横浜事務所一級建築士事務所 (事務所名変更) 旧) 株式会社リノシスコーポレーション横浜支店 一級建築士事務所		
鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所 (指定代表者変更) 平田 倫巳		
MHIプラントエンジニアリング&コンストラクション株式会社横浜一級建築士事務所 (事務所名称・指定代表者・所在地・TEL・FAX変更) 酒井 貴博 〒220-0012横浜西区みなとみらい3-3-1 TEL.045-200-9102 FAX.045-200-9220 旧) 菱重ファシリティー&プロパティーズ株式会社 横浜一級建築士事務所		
藤沢支部		
株式会社アーキクルー一級建築士事務所 (事務所名称変更) 旧) 一級建築士事務所株式会社アーキクルー		
北川建築事務所一級建築士事務所 (FAX変更) FAX.050-6865-7344		

変更	
鎌倉支部	
株式会社鈴木設計・鑑定総合事務所 (事務所名称・指定代表者変更) 鈴木 泰三 旧) 鈴木建築設計事務所	
有限会社湘南建築工房一級建築士事務所 (所在地変更) 〒248-0013鎌倉市材木座1-9-19-101	
秦野支部	
有限会社星野建築事務所 (TEL・FAX変更) TEL.0463-83-5573 FAX.050-1146-5345	
県西支部	
株式会社協和設計 (TEL変更) TEL.0465-35-8508	
賛助会新入会員	
リコージャパン株式会社神奈川支社 富士ゼロックス神奈川株式会社	

会 勢		平成30年 2 月 1 9 日現在				
支部名	平成29年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 濱	265	259	6	12	-6	
川 崎	107	105	5	7	-2	
横 須 賀	51	53	3	1	2	
湘 南 三 浦	18	18	0	0	0	
藤 沢	34	42	9	1	8	
鎌 倉	40	41	3	2	1	
茅ヶ崎葉川	18	17	0	1	-1	
平 塚	21	23	3	1	2	
秦 野	19	17	0	1	-1	
伊 勢 原	7	7	0	0	0	
大和綾瀬	19	18	0	1	-1	
厚 木	33	32	0	1	-1	
座 間	15	14	0	1	-1	
海 老 名	16	16	1	1	0	
愛 川	7	7	0	0	0	
相 模 原	72	71	0	1	-1	
県 西	41	40	1	2	-1	
合 計	783	781	31	33	-2	
賛 助 会 員	84	87	9	6	3	

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

【重要なお知らせ 総財務委員会より】

～神事協・研修ポイントカード制度終了のお知らせ～

会員増強や会員サービスの取り組みなどを総合的に考慮のうえ見直しを行う中で、これまで運用してまいりました神事協・研修ポイントカード制度をこのたび終了することになりました。

なお、今後のお取扱いについては下記の通りとなります。

・ポイントの「付与」は今年度内（平成29年度）実施分送の対象講習会等限りいたします。

・ポイントの「利用」は来年度内（平成30年度）実施分送の対象講習会等限りいたします。

以上、何卒宜しくお願い申し上げます。

編集者のつぶやき

落語のひとつに「粗忽の釘」という噺がある。新しい長屋に引っ越しをするときの粗忽者の亭主がやらからすドタバタを描いたもので、この亭主は大工なのだが、新しい長屋で箒をかける釘を打ち付けると、壁を突き抜け隣の何かまで打ち込んでしまった。ここで打ち込んだ釘が八寸の瓦釘。隣がどうなっているのか気になるころだ。

江戸時代の長屋は連帯感が強く、井戸で集う情報網も整い、プライバシーはなかったかもしれないが、今でいうシェアハウスだった。落語の長屋の店子達は、だいたいがおせっかいでそそっかしいが憎めない。現代のシェアハウスでも人情あふれる噺ができてくるだろうか。

【川崎支部 赤川真理】

かながわ 平成30年3月号（通号413号）

発行 平成30年3月1日（奇数月1日発行）

発行人 白井 勇

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F

TEL. 045-228-0755／FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 西倉 哲夫

・ 広報情報委員長 杉本 勝郎

・ 広報情報副委員長 相原 聡

・ 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史

・ 清田 鈴美子 田中 敦史 仙波 弦

・ 石川 勝彦 神尾 明美

・ 事 務 局 久保田 千尋



今月の表紙

旧吉田邸の梅

再建成った 大磯町の旧吉田邸を訪れました。平成21年の消失から8年。当時の吉田五十八設計のディテールがどこまで再現されているか興味を持っての来訪でしたが、襖の引手など色々なところにその面影を感じた初春の一日でした。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association